

年間授業計画 新様式

高等学校 令和 8 年度 (1 学年用)

教科 : 地理歴史 科目 : 歴史総合

単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第 1 学年

使用教科書 : 高等学校歴史総合 (第一出版社)

教科の目標 : 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。

【知識及び技能】	現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめようとする技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛国、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界および日本の相互的な視点からとらえて理解することができる。また、現代社会における諸課題について、歴史的背景を視野に入れて理解することができる。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、歴史上の概念を用いて考察し、その変化や経緯・原因などについて複数の史資料を用いながら表現することができる。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、現代社会における課題の解決を視野に入れて、他者と協働して探究することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 分 時 間
1 学 期	1 単元名 産業革命と近代化						
	【知識及び技能】 産業革命に関わる基本的な知識を得ることができる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 産業革命に関わる基本的な知識を獲得しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 産業革命の特徴について、複数の史資料を用いて考察することができる。	【指導項目・内容】 ・農業社会から工業社会へ産業革命	【思考力、判断力、表現力等】 産業革命について、複数の史資料を用いて考察し表現しようとしている。	○	○	○	5
	【学びに向かう力、人間性等】 産業革命について問題意識を持ち、他者と協働して探究することができる。		【学びに向かう力、人間性等】 産業革命について問題意識を持ち、他者と協働して探究しその成果を示そうとしている。				
1 学 期	2 単元名 市民革命と近代化						
	【知識及び技能】 市民革命に関わる基本的な知識を得ることができる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 市民革命に関わる基本的な知識を獲得しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 市民革命の特徴について、複数の史資料を用いて考察することができる。	【指導項目・内容】 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命 ・イギリスの繁栄	【思考力、判断力、表現力等】 市民革命について、複数の史資料を用いて考察し表現しようとしている。	○	○	○	5
	【学びに向かう力、人間性等】 市民革命について問題意識を持ち、他者と協働して探究することができる。	・後発国による上からの「近代化」 ・ロシアの近代化と南下政策 ・アメリカ合衆国の膨張	【学びに向かう力、人間性等】 市民革命について問題意識を持ち、他者と協働して探究しその成果を示そうとしている。				
1 学 期	3 単元名 帝国主義と近代化						
	【知識及び技能】 帝国主義政策と世界分割に関わる基本的な知識を得ることができる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 帝国主義政策と世界分割に関わる基本的な知識を獲得しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策と世界分割の特徴について、複数の史資料を用いて考察することができる。	【指導項目・内容】 ・帝国主義の時代 ・列強の世界政策 ・日清戦争と中国分割 ・日露戦争とアジア	【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策と世界分割の特徴について、複数の史資料を用いて考察し表現しようとしている。	○	○	○	15
	【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義政策と世界分割について問題意識を持ち、他者と協働して探究することができる。	・日本の工業化と社会運動の高揚 ・日本の帝国主義と東アジア	【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義政策と世界分割について問題意識を持ち、他者と協働して探究しその成果を示そうとしている。				
2 学 期	1 単元名 第一次世界大戦と大衆化						
	【知識及び技能】 第一次世界大戦に関わる基本的な知識を得ることができる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 第一次世界大戦に関わる基本的な知識を獲得しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の特徴について、複数の史資料を用いて考察することができる。	【指導項目・内容】 ・日本の第一次世界大戦への参戦と対大戦の終結 ・ロシア革命とソ連の成立 ・ヴェルサイユ・ワシントン体制	【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の特徴について、複数の史資料を用いて考察し表現しようとしている。	○	○	○	15
	【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦について問題意識を持ち、他者と協働して探究することができる。	・アジア諸国の独立運動 ・東アジアの民族運動と日本 ・アメリカの大衆社会	【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦について問題意識を持ち、他者と協働して探究しその成果を示そうとしている。				

年間授業計画 新様式

高等学校 令和 8 年度 (1 学年用)

教科 : 地理歴史 科目 : 歴史総合  
 単位数 : 2 単位  
 対象学年組 : 第 1 学年

使用教科書 : 高等学校歴史総合 (第一出版社)

教科の目標 : 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。

- 【知識及び技能】 現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめようとする技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界および日本の相互的な視点からとらえて理解することができる。また、現代社会における諸課題について、歴史的背景を視野に入れて理解することができる。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、歴史上の概念を用いて考察し、その変化や経緯・原因などについて複数の史資料を用いながら表現することができる。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、現代社会における課題の解決を視野に入れて、他者と協働して探究することができる。

学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時
2 学 期	2 単元名 戦間期・第二次世界大戦と大衆化						
	【知識及び技能】 戦間期と第二次世界大戦に関わる基本的な知識を得ることができる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 戦間期と第二次世界大戦に関わる基本的な知識を獲得しようとしている。				15
	【思考力、判断力、表現力等】 戦間期と第二次世界大戦の特徴について、複数の史資料を用いて考察することができる。	【指導項目・内容】 ・世界恐慌 ・ファシズム・軍部の台頭 ・ファシズムの対外侵略と国際秩序の変化 ・日中戦争の開始と戦時体制下の日本 ・第二次世界大戦の開始 ・第二次世界大戦の終結	【思考力、判断力、表現力等】 戦間期と第二次世界大戦の特徴について、複数の史資料を用いて考察し表現しようとしている。	○	○	○	
【学びに向かう力、人間性等】 戦間期と第二次世界大戦について問題意識を持ち、他者と協働して探究することができる。		【学びに向かう力、人間性等】 戦間期と第二次世界大戦について問題意識を持ち、他者と協働して探究しその成果を示そうとしている。					
3 学 期	1 単元名 冷戦・脱植民地とグローバル化						
	【知識及び技能】 冷戦・脱植民地化に関わる基本的な知識を得ることができる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 冷戦・脱植民地化に関わる基本的な知識を獲得しようとしている。				15
	【思考力、判断力、表現力等】 冷戦・脱植民地化の特徴について、複数の史資料を用いて考察することができる。	【指導項目・内容】 ・南アジア・東南アジア諸国の独立 ・西アジア・アフリカ諸国の独立と中東戦争 ・第三世界の台頭とラテンアメリカ ・核戦争の他国化と日本の動向 ・日本の高度経済成長とアジアとの関係回復 ・米中の動揺とベトナム戦争	【思考力、判断力、表現力等】 冷戦・脱植民地化の特徴について、複数の史資料を用いて考察し表現しようとしている。	○	○	○	
【学びに向かう力、人間性等】 冷戦・脱植民地化について問題意識を持ち、他者と協働して探究することができる。		【学びに向かう力、人間性等】 冷戦・脱植民地化について問題意識を持ち、他者と協働して探究しその成果を示そうとしている。					